

犬山の教育施策 2026

学びの学校づくり

—自ら学ぶ力を育むために—

概要版



犬山市小中学校長会
犬山市教育委員会

犬山がめざす「学びの学校づくり」

犬山市の基本理念



犬山の学校教育は、人格の完成をめざし、すべての子どもの学びを保障することを重点としています。学校では、子ども同士、子どもと教師の温かなふれあいの中で「学び」を深め、子どもたちに豊かな人間性と確かな学力を育むよう努めます。

犬山では、「めざす子どもの姿」「めざす教師の姿」「めざす学校の姿」を明確にし、「犬山の子は犬山で育てる」という共通の目標をもち、それぞれの学校づくりを追い求めていきます。

犬山市のめざす教育の姿

子どもの姿

自ら学ぶ力を身につけた子ども

犬山では、自ら学ぶ力を身につけた子どもの育成をめざします。

自ら学ぶ力を身につけた子どもとは、基礎的な学力を身につけ、家族や友達を大切に、地域を支え、自分の人生を大切にするとともに、自ら学び続けようとする資質や能力を身につけた感性豊かな子どもです。

教師の姿

自ら学び続ける教師

犬山では、自ら学び続ける教師の育成をめざします。

自ら学び続ける教師とは、自分自身が「学び」に感動し、その感動を子どもたちに伝え、共有する教師です。また、常に切磋琢磨しながら生まれる内発的な力により、指導技術の改善を積み重ねます。

学校の姿

主体性を育み自立する学校

犬山では、主体性を育み自立する学校をめざします。

自立する学校とは、教育委員会の支援のもとで、質の高い安定した学校生活を提供するため、教育課程や学級編制などを創意工夫する学校です。

教育課程や学級編制などを創意工夫し、質の高い安定した日常が提供できるようにします。そして、子ども・保護者・地域に対して本気で向き合い、情報を共有し、より信頼される学校をめざします。

特色ある犬山の教育

2学期制の活用

長期休業も含めて長い間隔で子どもの成長や変化をとらえ、一人一人が基礎的・基本的な内容を確実に身に付けられるよう継続的な支援を行います。また、地域や学校の実態と子どもの成長や特性を十分考慮した授業計画をもとに、適切な教育課程の編成をめざします。将来を見据えた主体的な進路選択を支援するために、本人・保護者の気持ちをゆっくりじっくり聞き取る時間を確保します。

読解力向上プログラムの実施

「正しく読む・書く・聞く・話す読解力」と「豊かに読む・書く・聞く・話す読解力」を高める工夫をするとともに、感性を育むための授業改善を進めます。また、読書活動を推進し、本に親しむ心を育てます。豊かな読書活動は授業改善につながり、授業改善が読書活動をさらに豊かにします。授業改善と読書活動推進の両輪で、教育活動全体を通じて、子どもの読解力を育みます。

少人数学級編制と 少人数授業・小学校教科担任制

中学校に市費負担教員を配置し、全学年において35人以下の学級編制を行います。

また、学級を複数の教師が担当して授業を行う少人数授業やTT（チーム・ティーチング）、小学校高学年における教科担任制の授業により、きめ細やかな指導や支援に努めます。



図書館教育の充実

学校図書館と市立図書館をつなぐパイプ役として学校連携担当司書を市立図書館に配置します。市内小中学校を巡回し、調べ学習資料の提供やイベント開催等、学校図書館の運営や学校司書を支援し、図書館教育の充実を図ります。

教育支援センター・家庭児童相談室

不登校をはじめとする子育ての相談を受けます。職員が学校や家庭を訪問し、保護者や本人の困りごとに対して積極的に関わることができる体制を継続します。

教育支援センター「ゆうゆう」「わいわい」を運営し、子どもが安心して、自分のペースで歩み出すための支援を行います。

特別支援教育の充実

特別支援教育支援員を配置し、学習や生活に困難のある子どもたちの支援を行います。特別支援教育介助員・医療的ケア支援員の活用範囲を広げ、子どもたちへのよりよい支援のため、保護者・学校の負担軽減を図ります。

食に関する指導の充実

県費栄養教諭が配置されていない小中学校に市費学校栄養職員を配置し、自校方式の学校給食を提供します。

地産地消の工夫とともに安心・安全な給食の提供に努め、調理担当者・生産者の顔が見える関係を食育に生かします。

日本語初期指導教室・語学指導員派遣

日本語初期指導教室を設置し、母語が異なる子どもたちの日本語理解と学校生活への適応を図るとともに保護者を支援します。

教育環境の整備

施設・設備の改修、備品などの整備を計画的に進め、子どもたちが安心して快適に学べる環境を整えます。学校からの営繕要望を効率的に把握し、営繕工事の実施率を上げます。犬山南小学校に続いて、城東中学校の改築・大規模改修事業を進めます。

ICTを活用した授業づくり

変化の激しい時代を生きる子どもたちにとって欠かすことができない能力である、情報収集・活用能力や問題解決能力を児童生徒に養うために、ICT支援員と連携し、児童生徒の情報端末・大型提示装置・指導者用デジタル教科書の実効性を高めます。

中学校休日部活動の地域展開

生徒の多様なニーズに応じた活動が行われるよう専門的な指導者を配置します。また、令和8年9月から休日部活動を地域で展開できるよう、段階的に地域への移行を進めます。



教育系大学との連携協定

大学とのパートナーシップを結ぶことで、小中学校への学生のボランティアを積極的に受け入れ、教員の支援を増やすとともに、人材の育成と確保に繋がります。また、大学に籍を置くあらゆる分野の専門家を招聘して研究を進めます。

犬山の教育施策2026「学びの学校づくり」

編集：犬山市教育委員会 学校教育課

〒484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑 36 番地

TEL (0568) 44-0350 FAX (0568) 44-0372

URL <https://www.city.inuyama.aichi.jp>

E-mail 070200@city.inuyama.lg.jp